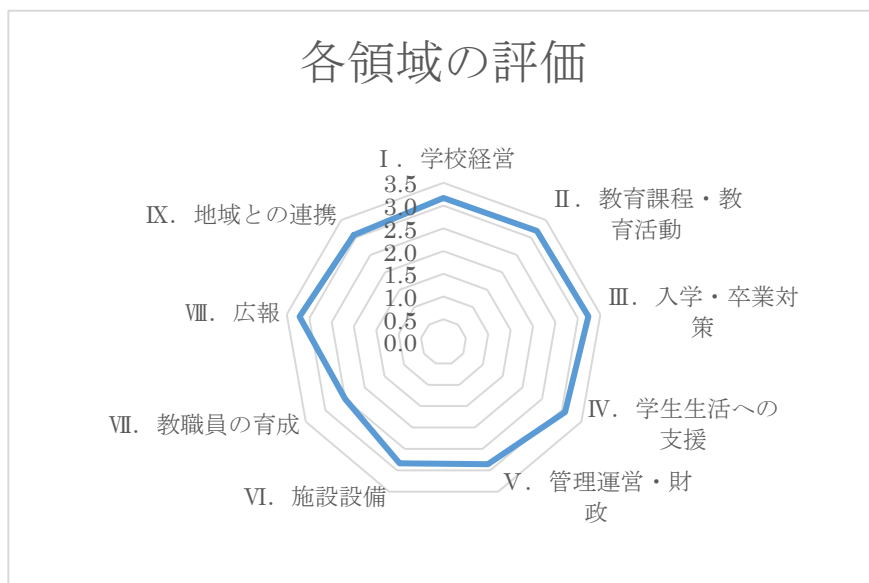


令和5年度 学校運営評価

新潟看護医療専門学校は、教育の質の向上を図り、学校の設置目的を達成するために、教育活動全般について自己評価を行い、改善を行うための学校運営評価を行っています。

学校運営評価は、9領域44項目からなり、「4 良い」「3 適切」「2 やや不十分」「1 不十分」の4段階評価を行っています。

領域	主な内容	項目数
I. 学校経営	学校の組織運営、組織目標について	6
II. 教育課程・教育活動	教育目標、教育内容、授業や実習について、評価について、学生による授業評価の活用等	15
III. 入学・卒業対策	入学希望者への対応、国家試験対策、卒業生への支援	4
IV. 学生生活への支援	就職や進学への支援、経済的支援、健康管理	5
V. 管理運営・財政	個人情報管理、災害への備え等	3
VI. 施設設備	学校の建物、設備、バリアフリーへの配慮	3
VII. 教職員の育成	研修の実施、学会派遣、教員相互の授業参観等	4
VIII. 広報	広報	2
IX. 地域との連携	地域との連携	2



令和5年度においては、これまで評価が低迷していた「I.学校経営」及び「II.教育課程・教育活動」の項目が改善された。改善理由として、事業計画書や事業報告書、職員会議等において本校の取り組みを適切に周知することで、各教職員が本校の特色を共有することができるようになったことが要因として考えられる。他方、「VI.施設設備」の項目においては、昨年度に比べて評価が低下した。これは、気候変動や経年劣化に伴う故障が目立ち、対応に追われたことが要因として考えられる。また、例年低評価となっている「VII.教職員の育成」については、研修に参加するための出張願や報告書の作成に時間がとられるため、業務との兼ね合いから参加することが困難であったことが低迷の要因として考えられる。評価改善のため、書類作成を円滑化するなどの策を講じることで、教職員が積極的に自己研鑽に努められるようサポートしていく必要がある。

改善がみられた項目がある一方、昨年度と比べ評価が低下した項目も目立つ。教育を提供する上で、施設の整備は最優先である。今後も支出と収入のバランスを考慮した施策を検討し、適切な学校運営に取り組みよう邁進していく。